

さくらインターネット株式会社（3778） 2013年3月期 第1四半期 決算説明会

代表取締役社長 田中邦裕

2012年7月25日

さくらインターネット株式会社

(C)Copyright 1996-2012 SAKURA Internet Inc.

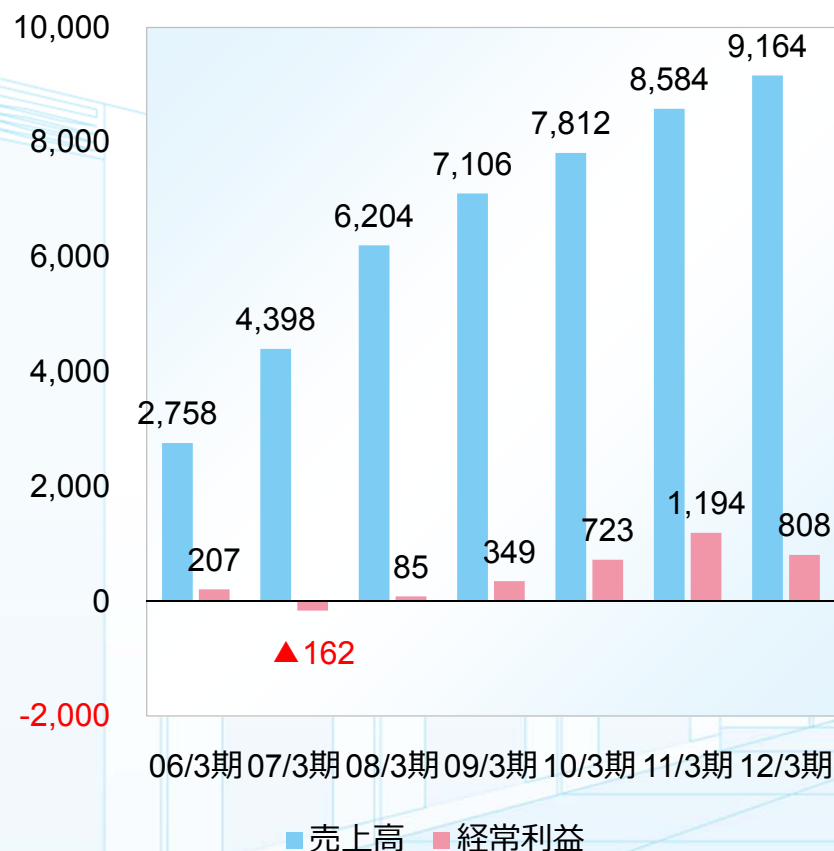
I.	会社概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.3
II.	決算概況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.6
III.	事業トピック	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
IV.	今後の取り組み	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.17

I. 会社概要

1. 会社プロフィール

- 上場後も安定した事業成長を続ける、データセンター専門事業者

(単位：百万円) 上場後の業績推移

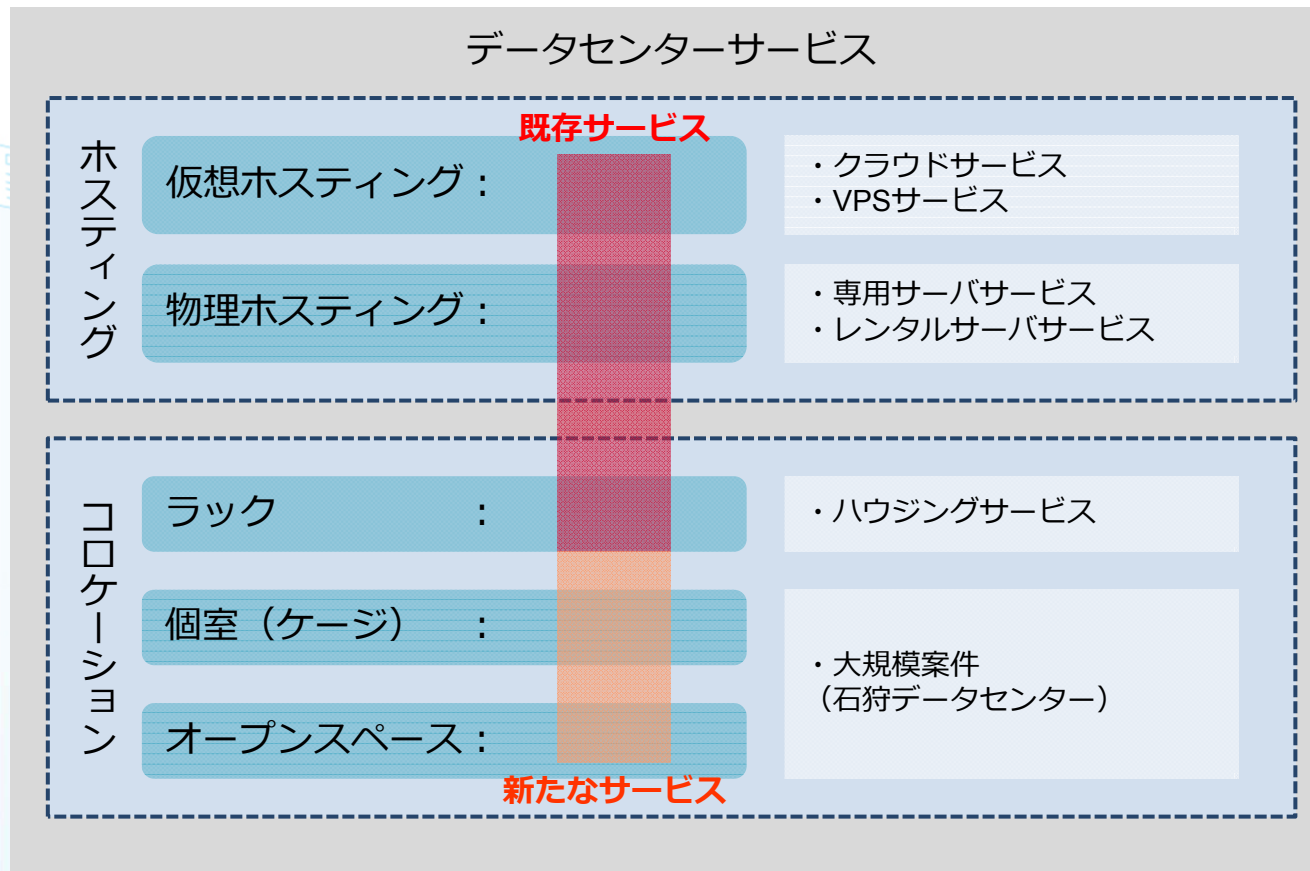


商 号	さくらインターネット株式会社
本 社 所 在 地	大阪市中央区南本町一丁目8番14号
設 立 年 月 日	1999年8月17日 (サービス開始は1996年12月23日)
取 締 役	代表取締役 社長 田中 邦裕 取締役 副社長 舘野 正明 取締役 川田 正貴 取締役 村上 宗久 取締役 (社外) 野村 昌雄
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (東証マザーズ)
決 算	3月末日
資 本 金	8億9,530万円
従 業 員 数	182名

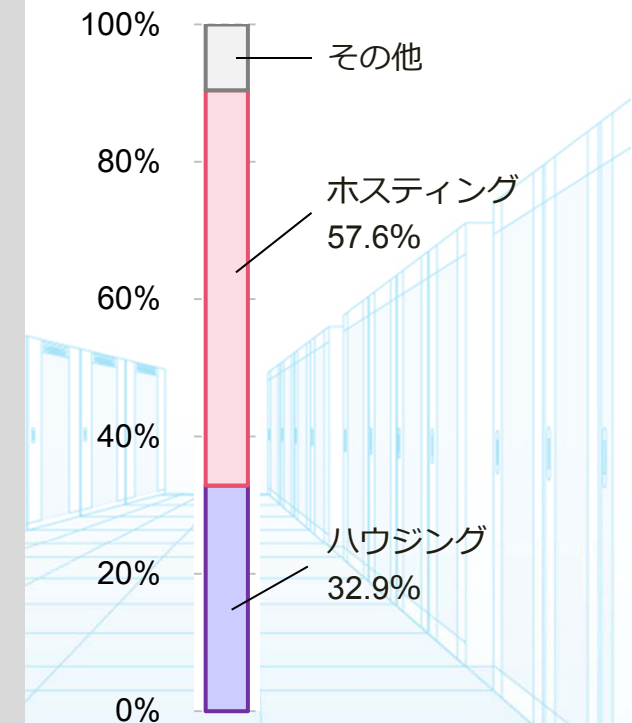
(※2012年6月30日現在)

2. 事業ドメイン

- 石狩データセンターの開設により、サービスカバレッジが拡大



当社サービス別売上高構成比
(2012年3月期)



II. 決算概況

1. 損益計算書（前年同期比）

- 対前年同期比は増収減益
 - 専用サーバの利用中件数は減少するも、ホスティング全体では増加
 - 前第2四半期以降の大型設備投資が影響し、データセンターの運営コストが増加

(金額：百万円)

科目名	'12/3期 Q1累計	'13/3期 Q1累計	前年同期比 (増減額) (増減率)	
売上高	2,272	2,340	68	3.0
営業利益	310	258	▲51	▲16.6
対売上高比率	13.6	11.0		
経常利益	299	243	▲56	▲18.8
対売上高比率	13.2	10.4		
四半期純利益	229	145	▲83	▲36.5
対売上高比率	10.1	6.2		
EBITDA	591	597	5	1.0

対売上高比率、増減率の単位は%
EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

2. 損益計算書（前四半期比）

- ・ 定率償却の進行により、減価償却費が減少
- ・ 池袋データセンターの閉鎖により、賃借料が減少

（金額：百万円）

科目名	‘12/3期				‘13/3期	前四半期比	
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計	Q1会計	増減額	増減率
売上高	2,272	2,270	2,296	2,325	2,340	15	0.7
売上総利益	736	660	566	549	663	114	20.8
対売上高比率	32.4	29.1	24.7	23.6	28.4		
営業利益	310	257	140	165	258	92	55.8
対売上高比率	13.6	11.3	6.1	7.1	11.0		
経常利益	299	239	119	149	243	93	62.9
対売上高比率	13.2	10.6	5.2	6.4	10.4		
四半期純利益	229	136	61	129	145	16	12.5
対売上高比率	10.1	6.0	2.7	5.6	6.2		
EBITDA	591	569	500	572	597	25	4.4

対売上高比率、増減率の単位は％
EBITDA＝経常利益＋支払利息＋減価償却費

3. サービス別売上高（前四半期比）

- 「さくらの専用サーバ」を投入したが、機能改定が遅れたため、受注に影響
- 初期費用無料キャンペーンによる影響も出たが、VPSは引き続き好調

（金額：百万円）

科目名	‘12/3期				’13/3期 Q1会計	前四半期比	
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計		増減額	増減率
ハウジング	757	744	756	752	760	8	1.1
対売上高比率	33.3	32.8	33.0	32.3	32.5		
専用サーバ	821	817	801	776	751	▲25	▲3.3
対売上高比率	36.2	36.0	34.9	33.4	32.1		
レンタルサーバ	404	420	430	447	463	15	3.6
対売上高比率	17.8	18.5	18.7	19.3	19.8		
VPS	67	74	94	120	143	23	19.2
対売上高比率	3.0	3.3	4.1	5.2	6.2		
その他	221	213	214	227	221	▲6	▲2.9
対売上高比率	9.7	9.4	9.3	9.8	9.4		

対売上高比率、増減率の単位は%

4. 貸借対照表

- ・ 助成金（石狩DC）や消費税還付により、現金及び預金が増加
- ・ サーバ等の通信機器類をリースで調達
 - － リース債務は増加したが、長期借入金の返済により固定負債は減少

（金額：百万円）

科目名	前期末 ('12/3期)	当期 Q1末 ('13/3期)	増減額	科目名	前期末 ('12/3期)	当期 Q1末 ('13/3期)	増減額
流動資産	3,199	3,310	111	流動負債	3,986	4,171	185
固定資産	7,941	8,039	97	固定負債	4,416	4,337	▲78
（有形固定資産）	7,053	7,078	25	負債合計	8,402	8,509	106
（無形固定資産）	397	490	93	純資産	2,738	2,840	102
（投資その他資産）	491	471	▲20	（株主資本）	2,738	2,840	102
資産合計	11,141	11,350	209	負債純資産合計	11,141	11,350	209

5. キャッシュ・フロー計算書（前四半期比）

- フリーキャッシュフローが改善
 - 税引前純利益の増加
 - 助成金制度やリースを活用

（金額：百万円）

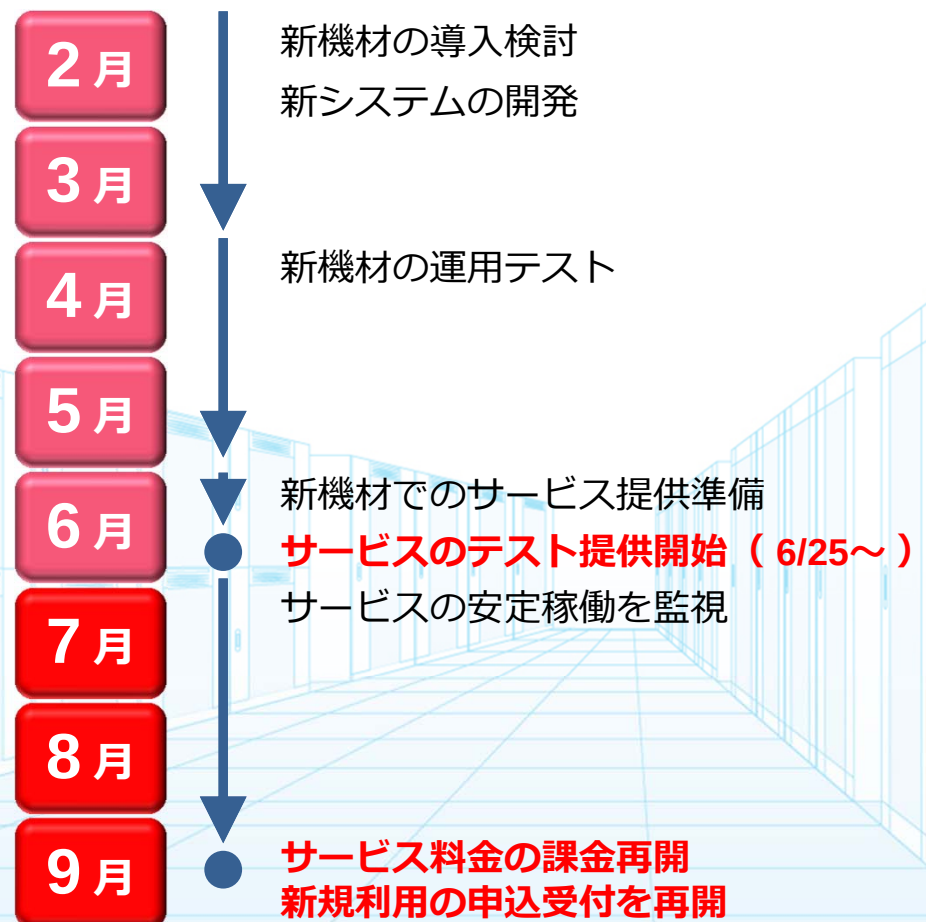
科目名	‘12/3期				‘13/3期	前四半期比 増減額
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
営業CF	297	505	263	519	694	175
投資CF	▲1,516	▲340	▲1,720	▲328	▲343	▲15
営業CF－投資CF	▲1,219	164	▲1,456	190	350	160
財務CF	▲191	▲125	1,251	▲227	▲151	76
現金等の増加額	▲1,408	34	▲204	▲37	199	236
現金等の残高	2,289	2,323	2,119	2,082	2,282	

III. 事業トピック（2012年4~6月）

1. さくらのクラウド 復旧状況

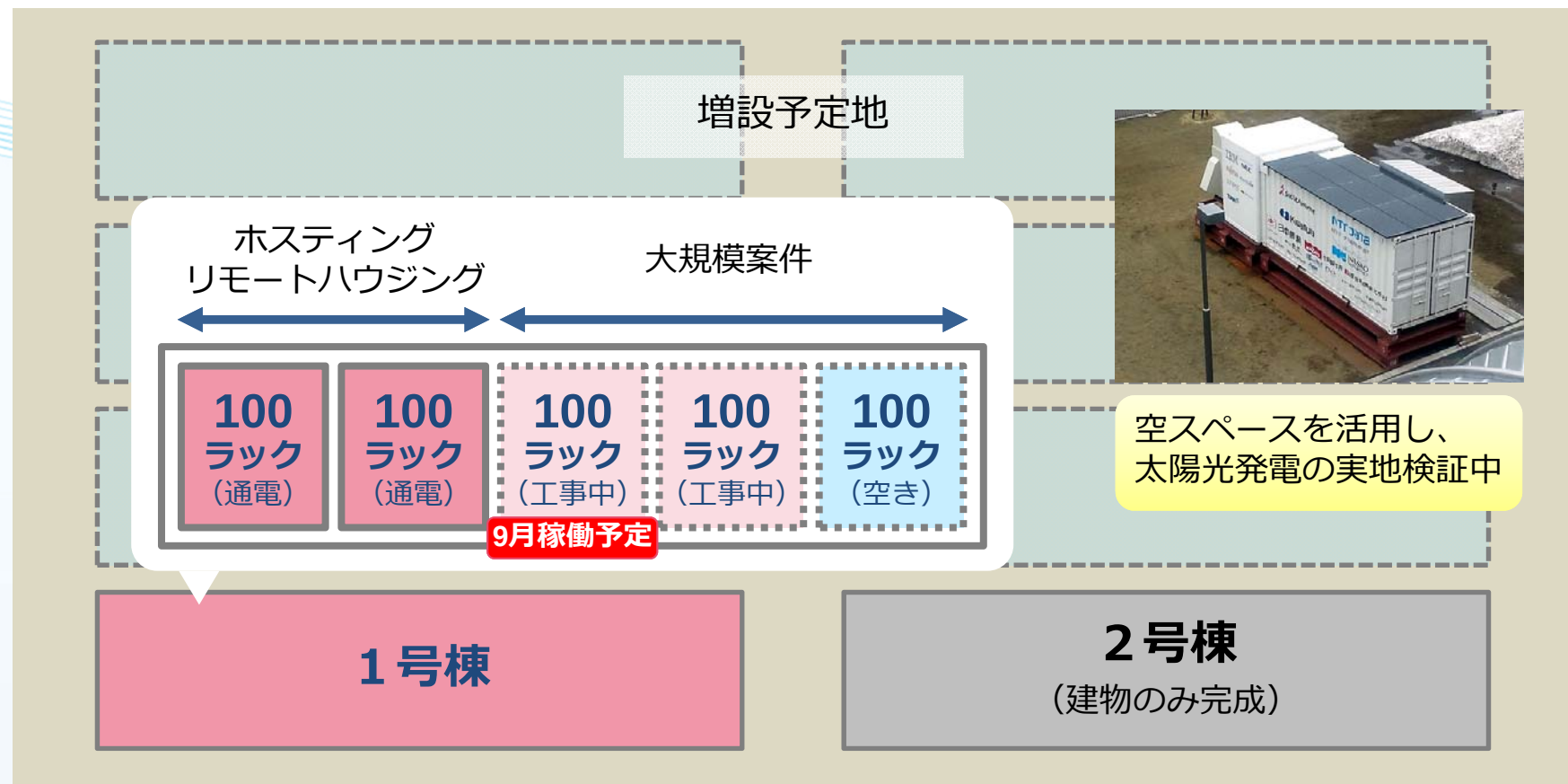
- 万全を期すため、十分な検証期間を設けた上で、復旧時期を決定

障害内容	サーバダウンやアクセス障害が発生し、サービスのパフォーマンスが低下
影響	1. 3月より、サービスを無償提供（サポート体制は維持） 2. 新規利用の申込受付を停止
原因	仕入機材の一部が、サービス提供に必要なパフォーマンスに達していなかったため
対策	1. 機材メーカーに原因解析と不具合解消を依頼 2. 使用機材を変更し、当社独自のサービス供給体制を構築



2. 石狩データセンター 概況

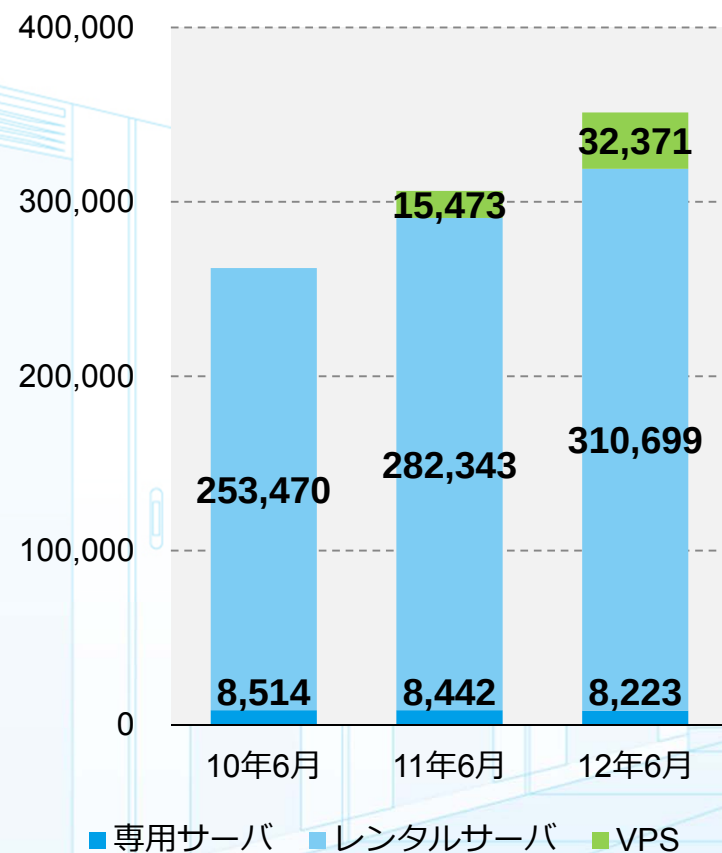
- ホスティングやリモートハウジングの他に、大規模案件（ハウジング）の受注活動を開始



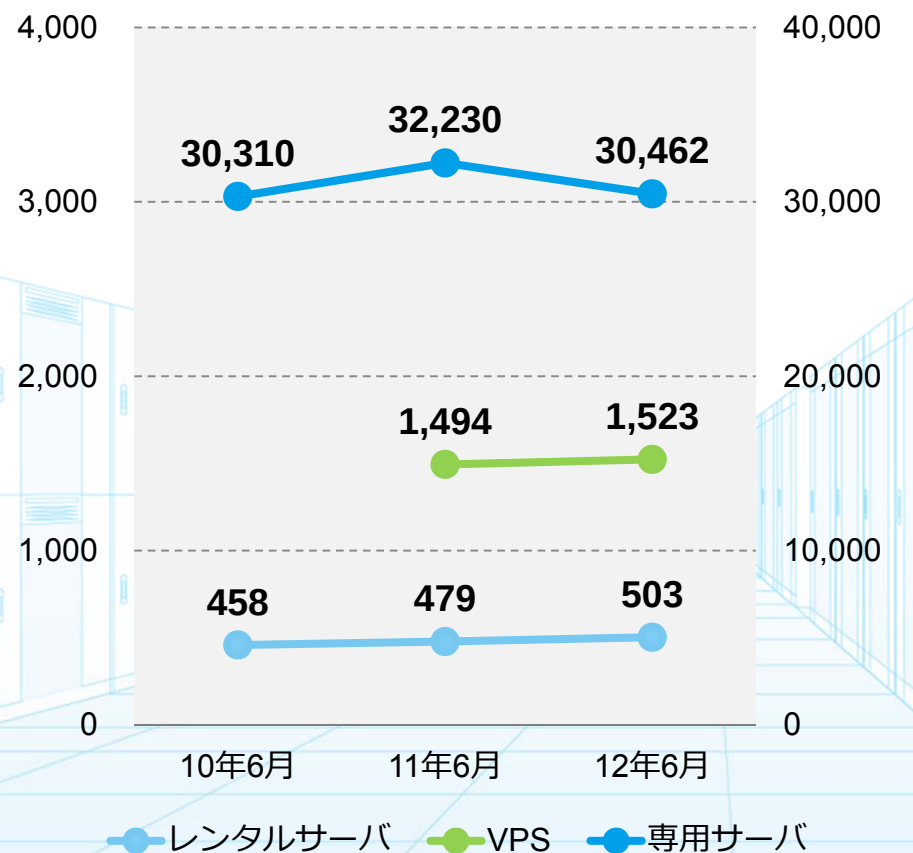
3. ホスティングサービス 利用動向

- 初期費用の負担が軽いサービスに需要が集まる

(単位：件数) 利用中件数



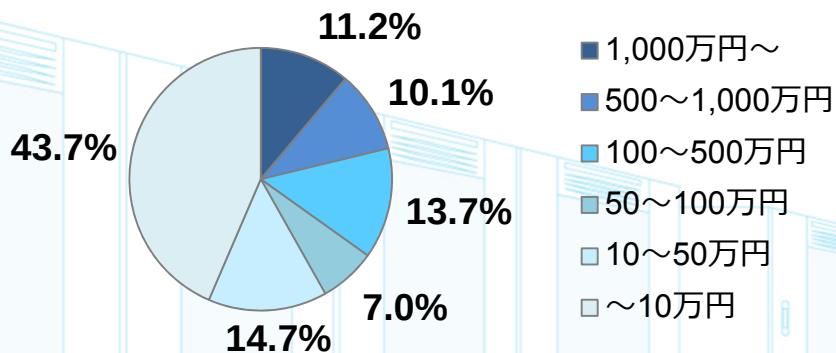
(単位：円) 平均単価



4. 顧客動向（2012年6月度）

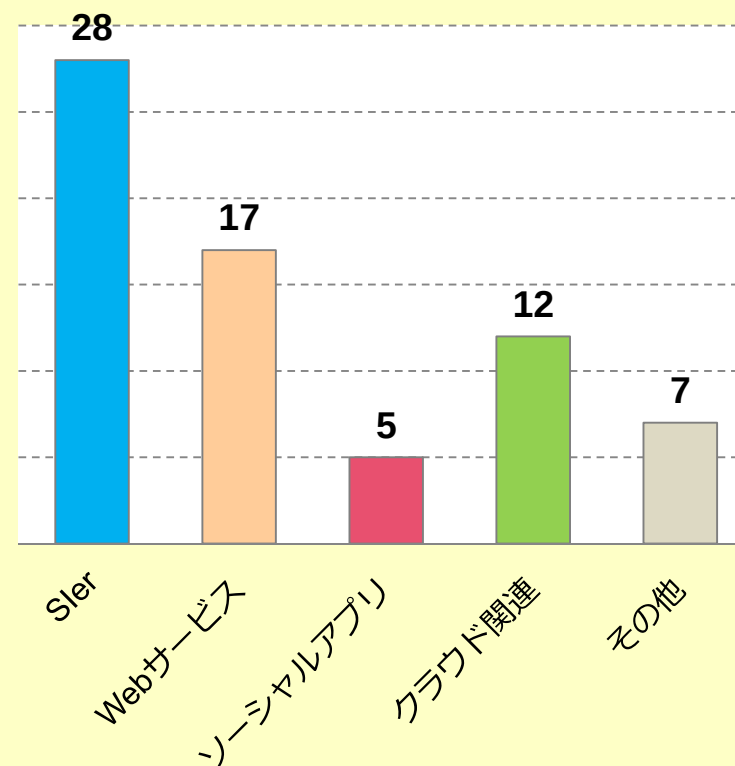
- サービスのフルライン化により、さまざまな事業者 서비스에提供

月額料金別データ
(売上構成比)



月額料金	事業者数
1,000万円～	5
500～1,000万円	10
100～500万円	54
50～100万円	81
10～50万円	547

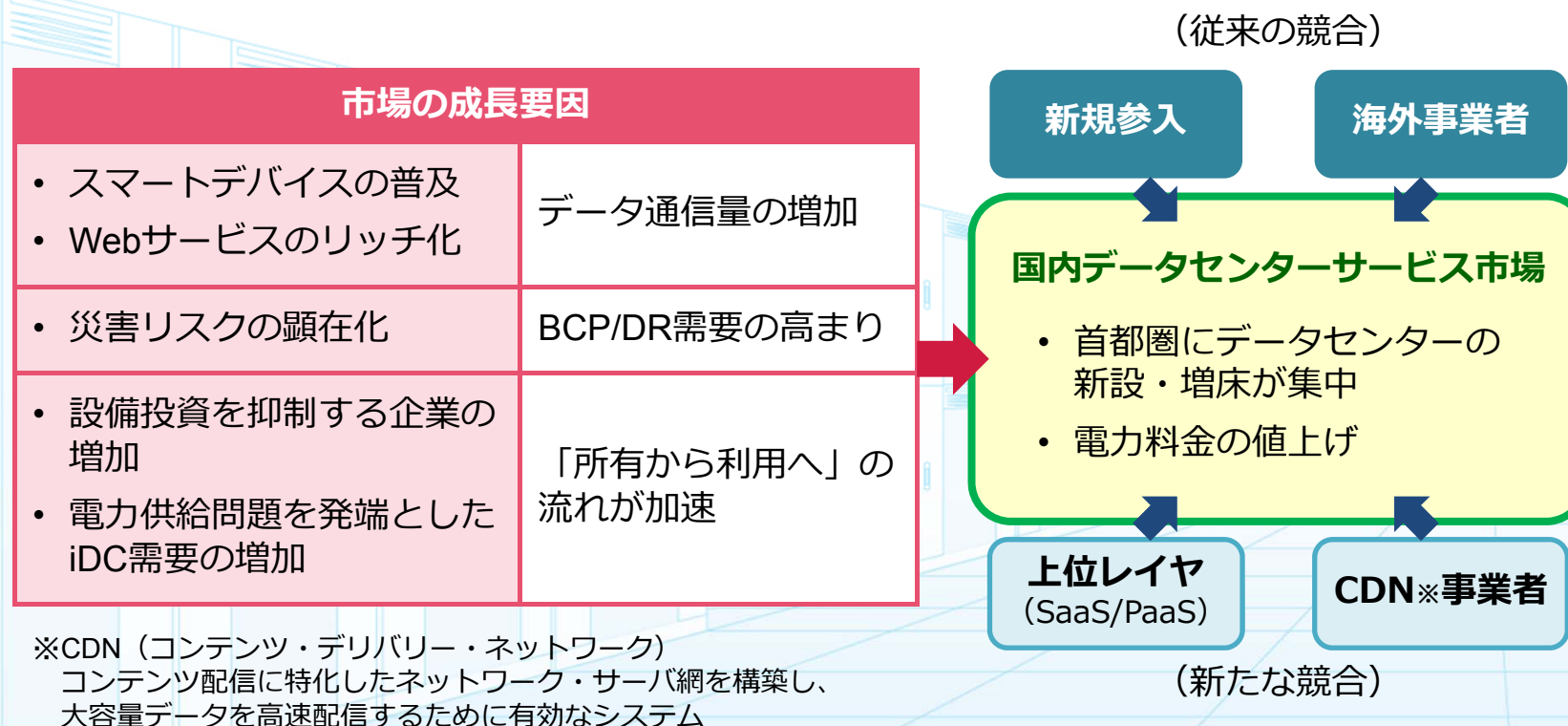
業種別
月額料金100万円以上の顧客数



IV. 今後の取り組み

1. 当社を取り巻く環境

- データセンターサービスの市場規模は拡大中も、新たな競合関係が発生
 - ITインフラとセットでサービスを提供する上位レイヤ事業者の登場
 - サーバ増設の代替措置として、CDN事業者を選択する顧客層が増加



2. 第2四半期以降の具体的施策

- ・ 強みを活かし、環境の変化をチャンスに変えるための具体的施策

石狩データセンターを活用したサービス展開

スケールメリットの拡大と既存顧客の深耕

サービス価値の創造と品質強化

① 石狩データセンターを活用したサービス展開

オープンスペース貸し

50ラック以上のスペースを、スケルトン&フルカスタマイズで提供



中央省庁
大企業

システム
運用委託



Sler

ITインフラ
提案



当社

エンドユーザのニーズ = 石狩DCの特長

低価格	大電源容量	高い柔軟性
将来の拡張余地	低災害リスク	グリーンiDC

石狩データセンター
オープンスペース

競合は、九州や韓国の
郊外型大規模DC事業者

さくらのクラウド

下期までに、サービス課金の再開と新規利用の受付再開を目指す

② スケールメリットの拡大と既存顧客の深耕

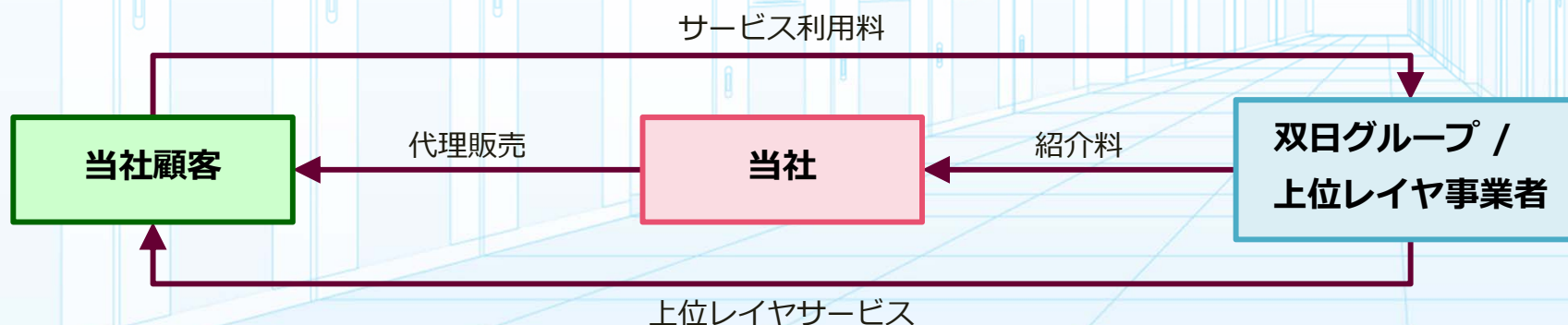
業務提携

双日グループが販売するデータセンターサービスのITインフラ基盤を提供



代理販売

双日グループや上位レイヤ事業者のサービスを、当社顧客に代理販売



サービス間接続

当社データセンターサービスのプラットフォーム化を実現

(構築例)



ファーストステップとして、石狩データセンター内の各サービス間でのローカル接続

→ 用途に合わせ、自由な環境を低コストで実現

- ITインフラ基盤のすべてを、**当社サービス内で完結できる環境に**
👉 **顧客の解約防止、顧客当たりの売上高増加を図り、成長性と収益性を向上**

品質強化

継続的にサービス改良を実施し、パフォーマンスと安定性の強化を図る

- サービス品質を強化し、市場における**当社ブランドの地位を確固たるものにする**
👉 **データセンターサービスを利用するなら“さくら”に**

3. 2013年3月期の業績見通し

- 当第1四半期累計期間の売上高は計画を若干下回る
 - クラウドサービスの課金停止等が影響
- 石狩データセンターを供給拠点とする大規模案件の引き合いが新たに浮上

(金額：百万円)

科目名	'13/3期 Q1累計 実績			'13/3期 Q2累計 (予想)		'13/3期 通期 (予想)	
	金額	増減率		金額	増減率	金額	増減率
売上高	2,340	3.0	下限	4,800	5.7	9,800	6.9
			上限	4,900	7.9	10,200	11.3
営業利益	258	▲16.8	下限	350	▲38.3	750	▲14.2
			上限	450	▲20.7	950	▲8.7
経常利益	243	▲18.8	下限	300	▲44.4	680	▲15.9
			上限	400	▲25.8	820	1.4
当期純利益	145	▲36.5	下限	180	▲50.8	400	▲28.1
			上限	220	▲39.8	500	▲10.2

増減率の単位は%



※ 当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IRに関するお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 東京支社

Tel : 03-5332-7077
E-mail : ir@sakura.ad.jp
担当 : 岡本